

親子体験・学校キャンプ 参加ガイド

親子体験・学校キャンプ&イベント参加のみなさまへ。

親子がいっしょに楽しみ、「子供が主役」となるキャンプ体験のために、家族でこんな取り組みはいいかでしょうか。「親が準備し、子どもは遊んで、食べる人」というキャンプではまるで家の生活と同じ。親子で体験することこそ、キャンプの最高の楽しさです。そんな「親子時間」をお楽しみください。

1 キャンプ活動は子供を主体に取り組む。

- ① 今回「学校キャンプを体験したい」と希望したのは子供でしょう。それならば、キャンプ体験に関わるすべての活動で「子供が主役」となるように家族内でしっかりと話し合っておきましょう。
- ② テント設営から食事準備、片付けまで「子供をメイン」に取り組みましょう。子供がちょっと苦労しながらテントを建てるのを、親が横でサポートする。「自分で建てられた!」という達成感は子供にとって最高の喜びになるはずです。食事は子供がコック長となって作り、親はアシスタント役に徹するのもいいかもしれません。作る食事は定番のカレーライスでもOKです。もちろん、片付けも子供が主になってやります。そういうすべてを「子供が主役」として取り組むキャンプ。ふだんは親がやっていることを、子供がメインになって体験することに「学校キャンプ」の価値が生まれます。

2 キャンプのルール・マナーを学ぶ。

- ① 薄い生地の特種だけで過ごすのがキャンプです。しかも、たくさんの家族がすぐ近くでキャンプをします。だからこそ、他の人々に気遣うことが大切です。災害など、いざと言うときの「避難所」の生活も同様の気遣いが求められます。日本全国にたくさんあるキャンプ場でも、ルールやマナーを守ってキャンプを楽しんでいます。
- ② そこで、今回の「学校キャンプ」でも基本的なルール・マナーを確認しておきましょう。
 - (ア) 家族で持ち込んだものは、家族で始末してすべて持ち帰る。(生ゴミも含めて)
 - (イ) 火の取り扱いに注意する。特にテントは火に弱いので注意が必要です。打ち上げ花火はしないようにしましょう。炭火使用や焚き火の際は、直火(直接地面で行う)はしないようにしてください。危険防止とともに、芝生などの植物、地中の生物への影響を少なくするためです。
 - (ウ) 「家族キャンプ体験」ですので、家族単位でテントに寝ましょう。子供だけのテントができないように、参加した親は互いに注意しましょう。
 - (エ) 午後9時以降は「大声を出さない」時間としてください。「学校キャンプ」をしている人だけでなく、ご近所の方に大迷惑になります。そして、寝るための準備をしましょう。
 - (オ) 午後10時が就寝時刻です。特に子供は守りましょう。
 - (カ) テントの中でのおしゃべりは、周囲にすべて聞こえるものですから、小さな声でするようにしましょう。それはマナーです。
 - (キ) 夜、トイレに行くときには、懐中電灯などの灯りをけっして他のテントに向けないようにしましょう。自分の足もとを照らして、できるだけ音を立てないように行きましょう。
 - (ク) 朝早く起きて歩きまわったり、おしゃべりをしたりするのもとても迷惑です。午前5時まではテントの中で静かに過ごしましょう。

3 親子体験：学校キャンプの会 特別企画もの（予定）

- ① 夜空観察 午後6時ごろから池前の特設望遠鏡で実施。（晴れていれば）
- ② 防災ご飯づくり 受付時に希望者にご飯を炊く「めし袋」（半合、100g用）を人数配布。家族で体験。100gの米を人数分小分けしてくると楽です。
- ③ 野外映画会 学校の白かべに映した映画の鑑賞会。19:00ごろから。
- ④ ポップコーン ポップコーンマシン（？）ではじけたおいしい味が楽しめます。
- ⑤ マシュマロ焼き 焚き火でマシュマロを焼いて食べる体験。暗くなってから。
- ⑥ 竹の工作 竹を使って皿や椀などの制作活動。明るい時間帯だけ。

4 初めてのキャンプに準備したいもの（チェック・リスト）

<input type="checkbox"/>	寝具	寝袋がなくても、蒲団やこたつ布団などを持ち込めばOK	<input type="checkbox"/>	布巾	タオルの兼用も可
<input type="checkbox"/>	懐中電灯	暗くなったら必需品。	<input type="checkbox"/>	調味料	醤油、塩、など。
<input type="checkbox"/>	衣類	夜は寒くなるので余分に。	<input type="checkbox"/>	油	カレーなどには使います。
<input type="checkbox"/>	椅子	参加する家族分。	<input type="checkbox"/>	洗剤・たわし	洗い物をするときには。
<input type="checkbox"/>	テーブル	調理や食事のために必要。	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	軍手	鍋つかみから防寒まで。	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	コンロ	煮炊きに必要（カセット可）	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	なべ	湯沸しや汁もの用	<input type="checkbox"/>	食材（夕食）	家族人数で残さない量に。
<input type="checkbox"/>	小さなべ	湯沸しに便利（ヤカン）	<input type="checkbox"/>	食材（朝食）	軽めでまとめましょう。
<input type="checkbox"/>	まな板・包丁	包丁は布巾でくるんで安全に	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	箸・菜箸	菜箸は便利	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	スプーンなど	食事を何にするかで	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	食器	皿・どんぶりなど	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	カップ	コーヒーやお茶用	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	おたま	汁物には欠かせません。	<input type="checkbox"/>		

テントレンタル家族用にリストを作りました。空欄の口は、各家庭でメモを追加して忘れ物チェックに利用してください。食事内容によって、持参道具は変わりますので、事前にリストアップを。

5 雨の対応。「雨が降っている！」「雨が降りそう…」というとき。

- ① 学校キャンプ当日に「雨が降っている」あるいは「雨が降りそう」と、テントキャンプに不安があるときには、**各家族単位で判断してください。**台風など、とてもキャンプができないという状況以外は、「全体として中止」はしない予定です。「全体中止」の際には、事前に連絡いたします。「雨が降っても大丈夫！」という家族はどうぞ「雨キャンプ」をお楽しみください。
- ② 「雨キャンプ」は、活動にかなり制約を受けます。遊びなど活動が限られるのはもちろん、食事を作って食べることもままなりません。（校舎や体育館等は使用しません）。特に、レンタルのテントを利用する家族の場合には「テント内」しかスペースがありません。テント内でのコンロ等の火器使用は危険です。（*_*）無理なキャンプはおすすめしません。
- ③ また、テントが濡れた場合には、片づける際に完全に乾かしてから畳むこととなります。少しでも濡れたままですと、保管しているときにカビが発生します。つまり、キャンプの最後には「**テントを完全に乾かす**」という活動が含まれます。レンタルの場合にも、各家族で完全に乾かしてから返却していただくこととなります。もしも、2日目も雨の場合には、雨がやんで乾くまで待って畳むか、あるいはとりあえず濡れたままのテントを自宅に持ち帰っていただき、天気がよくなったらすぐに乾かして、**畳んだうえで返却**してもらおうこととなります。ご了承願います。
- ④ 「雨が降っている」「雨が降りそう」というので、「**キャンプはキャンセル**」という場合には、**受付開始時刻（1日の14:00）までに学校（37-0214）に電話をお願いいたします。**